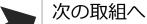
青梅市立新町小学校(1年目)

【校長】 【児童数】 【学級数】 塚田 直樹 686名 2 1 学級



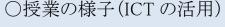


【課題・改善】

- ①体育の学習が「好き」「まあまあ好き」という児童は全 体的に増えた。しかし、「あまり好きではない」「きら い」と回答した児童も4・5年生では増加、6年生は横 這いとなった*。
 - ※4年生3%→6.2%、5年生7.9%→13.1%、 6年生 20.3%→19.6% (5月→12月)
- ⇒魅力的な教材および単元計画、個別の課題に寄り 添った指導方法の工夫などについて研究を進め、 体育の学習について肯定的な回答が増えるよう、 授業改善に取り組む。
- ②休み時間に体を動かしている児童の割合は増加した が、約3割の児童は教室内で過ごしている。
- ⇒一人一人の児童に運動習慣を身に付けさせるた めには、日常的に体を動かしたくなるきっかけづく りが必要である。

【実態・課題】

- ① 体育の学習が「好き」「まあまあ好き」の児童が全体の7 0%いる。しかし、学年が上がるにつれて割合が低下して いる。
- ⇒運動、スポーツへの興味・関心を高める。
- ② 休み時間に体を動かしている児童は、学年が上がるにつ れて減少している。
 - ・教室で過ごすことを好む傾向がみられる。
- ⇒外遊びをする時間を確保する。
- ・運動に親しむ機会が少なく、けがで保健室に来室する児 童が多い。
- ⇒健康な体づくりの十台として、運動習慣の定着を図る。



タブレットで見本となる動画を配信し、 児童が確認しながら運動に取り組める ようにした。また、お互いの動きを撮影 しあって、自分の動きやポイントを確認 し合った。

【取組(詳細)】

- ① 体育科の授業改善を図る取組
 - ○校内研究の取組

「対話的な活動を通して、運動する楽しさを味わい、意欲的に取り組む児童の育成」を目指している。

各分科会ごとに 研究授業を設定し 学年、学校全体で 授業改善を推進する。

【研究授業日程】

• 9月20日(1年)

•10月18日(4年)

•11月 8日(5年)







第1学年 研究授業 マットを使った運動遊び 「にこにこマットランド」



第4学年「マット運動」授業の様子

②休み時間における体育的活動







○たてわり班活動の様子

外遊び例:おに遊び、大なわ、だるまさんがころんだ、 ドッジボール、かげふみ、じゃんけん列車など



○持久走旬間の様子 休み時間、低学年・中学年・高学年ごとに走る コースを設定し全校で取り組んでいます。

・体育の学習が「好き」「まあまあ好き」という児童の割合を高める(80%)・一日一度は外遊びをする(80%)

【成果】

- ① 研究授業も含め、ICT の活用をするなどの授 業改善に取り組んだことで、児童が意欲的に 学習に参加する姿が多く見られた。体育の学 習が「好き」、「まあまあ好き」という児童が88.5% に達した。
- ② 異学年交流、持久走旬間などの体を動かす時 間を確保したことで、休み時間にすすんで体を 動かす児童が、高学年を中心に増えた*。 ※学校全体 68.7%→73.6%

高学年 49.2%→62.7%

(5月→12月)

【取組】

- ① 体育科の授業改善を図る取組
- ・各分科会ごとに研究授業を設定し、学校、学年全体で授 業改善を推進する。
- ・一人1台端末を活用し、自他の動きを撮影したり、学習カ ードを共有したりして、多様な関わり方で運動に取り組 めるようにする。
- ② 休み時間における体育的活動

【たてわり班活動】昼休み 30分×年間5回

異学年遊びの交流の時間を設定し、学校全体で体を 動かす時間を確保する。全校を21グループに分けて、6 年生が中心となって行う。それぞれ、遊びや運動などを 企画する。

【持久走旬間】中休み 5分×10日間 中休み、5分間走の時間を設定し全校で取り組む。